



# JIC インフォメーション

第159号 2009年11月10日

年6回 1・2・4・6・9・11月の10日発行

1部500円

発行所: JIC 国際親善交流センター 発行責任者: 伏田昌義

<http://www.jic-web.co.jp>

東京オフィス: 〒160-0004 東京都新宿区四谷 2-14-8 YPCビル 7F

TEL: 03-3355-7294 jictokyo@jic-web.co.jp

大阪オフィス: 〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-1-22 フェアステージ大手前ビル 5F

TEL: 06-6944-2315 jicosaka@jic-web.co.jp

ロシア・旧ソ連  
国際交流誌

## ロシア地方都市が面白い！



<ロシア・カムチャツカの風景>

<連載>「エクメネの最果てへ」ーサハ共和国 冬の旅ー

岡本 健裕・・・2-4P

「あたたかい地の果てカムチャツカ」十川 宣治・・・5P

「ロシア・旧ソ連製旅客機を訪ねて」最終回

鈴木 一、平井 伸彦・・・6-7P

「6年の歳月、モスクワの変化を感じ 09年夏」

相澤 進之助・・・8-10P

「私の初ロシア～シベリア鉄道の旅～」石田 真帆・・・11P

ロシア情報・JIC情報・・・12-14P

ペンパル情報・・・15P

JIC予定・・・16P

JICでは、Jクラブ（JIC友の会）会員を募集しています。  
年6回の情報満載のインフォメーションをお届けします。

# エクメネの最果てへ —サハ共和国 冬の旅—

## 第3回 岡本 健裕

さて、この連載は前回一旦終わりそうに見えましたが、肝心の世界一寒い街、ヴェルホヤンスクへ辿りつかないまま終わるわけにはいきませんので、もうちょっと続けます。というより、ここからが本番ですよ。

私が滞在中、ヤクーツクの気温は大体マイナス 33℃前後でした。これから向かうヴェルホヤンスクは、来る直前にモスクワで調べたところマイナス 54℃ということです。インターネットって便利ですね！(▽)…なんて無邪気なことを言っている場合ではありません。54℃(以降、マイナスは略します)、レベルが違います。某国の通貨ほどじゃないですが、こんなにインフレしちゃって大丈夫なんでしょう。

こういう未知の気温のところへ行くのに、一般的な日本人である我々はどんな準備をしていけばいいのか、ちょっと想像が付きません。特に服装が心配です。

私の大好きな映画に「八甲田山」という大変暗い作品があります。そこでは、雪中行軍訓練中の日本兵たちが寒さの中で錯乱し、狂態を演じながら次々に死んでいくのです。それも、「敵は酷寒零下四十度に於いてなお戦うことを習得しているロシア軍である。」とばかりに、燃やさなくてよいライバル心を燃やし、貧弱な服装で出発したがために(ほかにも様々な原因はありますが)自滅していくのです。そんな壮絶きわまる雪中行軍でさえも、気温は 30℃程度だったのではないのでしょうか。「八甲田山」は映画ですが、史実を基にした小説が原作です。先人の尊い犠牲をないがしろにして、50℃台をなめてかかると罰が当りそうです。

ですので、この旅の前に装備のヒントを見つけるべく、私は年の瀬の大阪の登山用品店で、たっぷり 1 時間ほど品定めしました。そして結論を出しました。

一必要なものは現地で買えばいいや。

正直に言って、あれこれ考えるのが面倒くさかったから逃げたんですが、それは秘密で、実際に合理的な判断であるとも思ったからそうしたのです。だって、人跡未踏の地へ行くわけではないのです。ちゃんと人が住んで生活しているのだから、その人たちと同じ服装をしていればいいはずですよ。というわけで、身も心も軽く、いつも通勤に使っているスーツとダウンジャケットの組み合わせで、ヤクーツクに降り立ちました。

きっと大丈夫だろうとは思っていましたが、確かにヤクーツクではこれで問題ありませんでした。あまり長時間連続で屋外にいることはお勧めできませんが、ウール製のスーツは幅広いシーンで適応力を発揮する、汎用性の高い衣料な

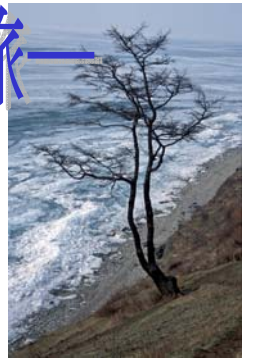
んです。しかし、いよいよ明日はヴェルホヤンスクへ行くという日、現地旅行社のサルダナさんに言われました。「その格好でヴェルホヤンスクへ行くことはできません。」

やはりそうですよね。「できれば、死なずにすむ服装を購入したいです。」とお願いして、防寒服の買える店へ案内してもらいました。

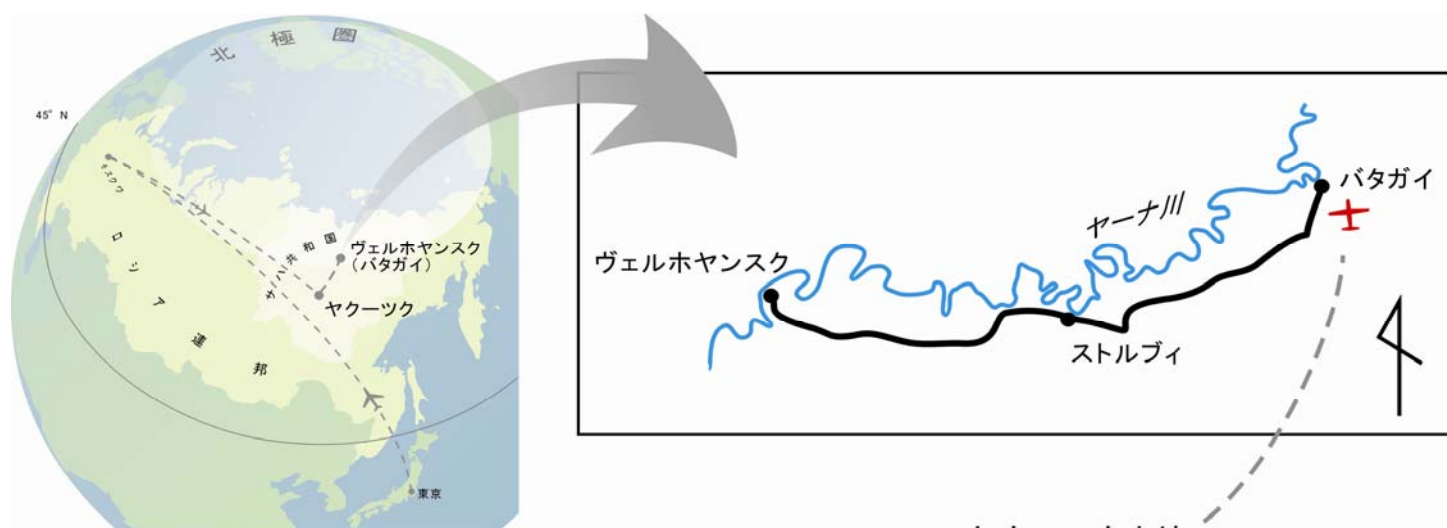
連れて行ってもらったところは、ヤクーツク市内中心部の特殊防寒服の専門店でした。作業服と呼ぶのがふさわしい、見た目のごつい上下服が店内と狭しと吊り下げられています。いくつか試着して体に合うものを選びました。この防寒服はみな、最近の繊維製品としては珍しくロシア製なのです。早速身を包んでみると、確かに全然寒くない！素晴らしい性能です。さすが本場の品物であると感心しました。この服、防寒性能に妥協がないのは当然ですが、値段が安いのがまた結構。一応、上下合わせて 1 万数千円はするので激安とまでは言えないですが、日本で極地用の防寒具を入手しようとしたらこの 10 倍くらいはするでしょう。一生に 1 度あるかどうかの寒冷地に行く機会のために、そんな高価でかさばる防寒着を揃えるのは現実的ではないですが、これなら旅行者にもどうにか利用できそうです。



服はこれで何とかなりました。次は靴のことも気になります。もちろん、日本で普段使っている通勤用の革靴でもいいですがありません。そこで購入することになったのが、ヴァーレンキ(ВАЛЕНКИ)という履物。これがどんなものかご存じですか？ヴァーレンキはフェルトでできたブーツです。つなぎ目のない、巨大なフェルトの靴下のような見た目をしています。いや、もういっそ、外も歩ける靴下と言った方が正確な







気がしてきました。あんまり「靴」らしくないのです。何しろ底まで全部フェルトでできていて、つまり全部が布な訳ですから、持ったら妙に軽しい、押さえたらペコペコへこむし、申し訳ないけど、頼りない。いきなりこれだけで履くと足が全然固定できないので、インナーブーツも重ね履きします。このインナーブーツは毛足の長い正体不詳のフワフワ素材でできているのですが、また何とも言えず安っぽいのです。実際に値段は安いのですが。このヴァーレンキとインナーブーツ、ひと揃いで 2 千円くらいでした。そんな代物なのに、いい意味で期待は裏切られます。履いてみると驚きの暖かさ！フェルトの底なのに、屋外もビシバシ歩いて滑らない！

もちろんロシア製(購入したものにはヤロスラヴリ製と書いてありました)のこのアイテム、当地では古くから普及している冬用履物で、モスクワあたりでも話には聞いたことがあったのですが、うわさ通りの性能のよさでした。

さて、そうやって完成度の高い防寒装備を安価に揃えることができた訳ですが、ヤクーツクの街中には、似たような格好をして歩いている人は実はほとんどいないのです。地元の人の身なりでは、服も靴も、毛皮製品がやたらと目につきます。どうやら特殊防寒服やヴァーレンキは、現地では相当ダサイ格好みたいですよ(いや、ヤクーツクじゃなくても明らかにファッション性ゼロ)。たぶん、ホームセンターで全身コーディネートしたような感じなのでしょう。この地でダサくないと言える格好は、やっぱり毛皮製品が筆頭ようです。ヤクーツクでは毛皮は普段着並みの存在です。が、さすがに上述のような安価では揃えることができません。旅行の間だけで使うにはちょっともったいないのです。結局、特殊防寒服やヴァーレンキが、妥当な選択肢になってしまうんですね。

性能に関しては申し分のない装備を揃えた次の日、いよいよ「世界一寒い町」ヴェルホヤンスクへ出発する日が来ました。

ヤクーツクからヴェルホヤンスクへは、常設の自動車道路

がありません。陸の孤島のようになっているので、飛行機を利用します。しかし、面倒なことに、ヴェルホヤンスクには現在空港がないので、直接飛んでいくこともできません。最寄りの空港は、ヴェルホヤンスクの東のバタガイという町にあり、ヤクーツクとは週に数便のフライトで結ばれています。大変ですが、まずはバタガイへ向かい、そこからは陸路でヴェルホヤンスクを目指します。

早朝のヤクーツク空港では、まだ暗いうちから発着便が数多く設定されていて、利用客で賑っています。眠い目をこすりながら空港へ向かうのは辛いですが、昼間は濃霧が発生しやすくなるため、飛行機の発着にとっては朝早いほうが、都合がよいようです。

ここでちょっと霧の話をして。サハのような酷寒地では、しばしば濃霧が視界を遮ります。そのほとんどは、居住霧(キョジュウム)といって、特に人が生活しているところで発生します。暖房設備、車、工場の排気などに含まれている水分が霧となるからです。日本でも、冬になると吐く息や自動車の排気ガスが白っぽく見えますね。これがもっと大きなスケールで起こると居住霧になります。ちょうど、町全体が大空に白い息を吐いているような感じです。

居住霧は、過冷却状態の水分でできています。つまり、氷点下においても凍っていない、ちょっと不思議な状態の水なのですが、何かに触れると、この過冷却状態が壊れ、たちまち氷になってしまいます。これは霧氷(ムヒョウ)といって、日本では冬山の樹木などで見られる自然現象ですが、ヤクーツクではこの霧氷が街路樹から電線まで、あらゆるものにとりついていきます。特に、交通量の多い通り沿いは、ふんだん



な排気ガスの恩恵を受けて、まさに氷漬けの町、というにふさわしい、凄まじい景色を作り出しています。

閑話休題、話をヤクーツク空港に戻しましょう。空港の敷地内で活躍する車の中に、見慣れないものがあります。見た目はちょっと古いデザインのトラックですが、後部から太いパイプが何本もによろよと伸びています。この車、何に使われるかわかりますか？これは、駐機中の飛行機に暖房を供給するための車なのです。ある程度以上の大きな飛行機は、メインエンジンが停止していても補助動力装置から自力で暖房を供給できるのですが、小型の飛行機はエンジンを止めるとそのまま冷凍庫になってしまいます。そこで、駐機中の小型機がエンジンを始動するまでの間、この車が暖房を供給するというわけです。仕組みは単純で、車の後部から伸びている太いパイプを飛行機の乗降口に突っ込み、強制的に暖気を送り込むだけです。しかし、それは一種異様な光景となります。先ほどの居住霧の原理の通り、猛烈な白煙が飛行機を取り囲むからです。



これからバタガイへ飛ぶのは、その名もずばり北極航空(Полярные авиалинии)のアントノフ 24 型機—これはロシア全土に大変よく普及している、旧ソ連製の小型ターボプロップ機です—で、しっかりと暖房用パイプが差し込まれて

いました。機内に入ると、例の暖房用の管の先端が通路に遠慮なく這って、ちょっと邪魔ですが、超強力な温風でキャビンはポカポカです。

余談ながら、この暖房用パイプは、機体の左舷側から引き込まれていたため、乗客の我々は右舷側から搭乗しました。右側から飛行機に乗るのは、ちょっと珍しいですね。

キャビンの 3 分の 1 くらいのスペースは物資輸送用に充てられているようで、さながら貨客混載機という風情です。著しく陸路の未発達なヴェルホヤンスク方面への物資補給に、この航空路がどれほど重要な役割を果たしているか、容易に想像がつかしました。

フライト時間は約 2 時間、機内サービスらしいものはありません。離陸してすぐレナ川を飛び越えると、眼下にはひたすらゆったりした山々がどこまでも続きます。植生は黒っぽい針葉樹の疎林ばかりの、モノクロの世界です。

エコノミークラスにしてはゆったり目のシートピッチで、快適なフライトが終わると、小さなバタガイ空港に着陸しました。エプロンに降りると、何と、複葉機が何機か見えます。21 世紀に現役で定期旅客運用に就いているおそらく唯一のレシプロ複葉機である、アントノフ 2 に間違いありません。すごい！すごい！…などと興奮しているうち、違和感を覚えました。気のせいかなんまり寒くないのです。それどころか、ヤクーツクより暖かいようにさえ感じます。

そして、それは気のせいではなかったのです。

< 続 >

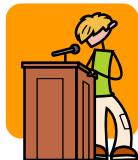
## 創価大学 ロシア語スピーチコンテスト テーマ：～出会う～

日程：2009 年 12 月 13 日(日)

会場：創価大学学生ホール 3 階多目的ホール

主催：創価大学ロシア研究会

◆どなたでもご来場いただけますので、ぜひ足を運んでみてください！



◆お知らせ◆JIC インフォメーションの電子化について  
日頃は JIC インフォメーションをご愛読いただきありがとうございます。JIC では電子版インフォメーションの読者を募集しています。具体的にはメールアドレスをご連絡いただければ、PDF 形式でダウンロードできるように、毎号発行時に案内メールをお送りいたします。ご希望の方は E-mail アドレス「jictokyo@jic-web.co.jp」にご連絡ください。件名を「インフォメーション」とし、①お名前、②ご住所、③お電話番号、④メールアドレス に電子版インフォメーション希望の旨を書き添えてお送りください。よろしくお願い致します！

## 新年をロシアで迎えてみませんか??

12/28(火) 発～1/3(日) 帰国のツアー参加者募集中！

モスクワ・ペテルブルグを訪問する年末年始 7 日間のツアーがなんと **229,000 円**！(2 名参加の場合の 1 名あたりの旅行代金)

### ◆ 日本航空で行くモスクワ・ペテルブルグ 7 日間 ◆

① **1 名様から催行可能！**

(※ 1 名様参加の場合は追加料金が必要となります)

② 空港(駅)ーホテル間は**全送迎付き！**

しかも各都市初回到着時出迎えは、**日本語ガイド付き！**

③ **モスクワ・ペテルブルグ 2 都市を訪問！**

④ 両都市たっぷり**フリータイム付き！**

⑤ 12/31-1/2 の**年越しは人気都市ペテルブルグにて滞在！**

⑥ ペテルブルグでは**市の中心に徒歩でアクセスできるロケーションのホテルを確認！**

⑦ 都市間移動で**寝台列車体験**もできます！

⑧ 散策に**便利なメトロカード(またはコイン)**を両都市分(5 回分/都市)プレゼント！

⑨ **日本語対応可能な JIC モスクワオフィス設置！**

⑩ **日本国内線も追加手配可能**です(大阪・名古屋発着は片道+6,000 円、その他の都市は片道+8,000 円)！

その他詳細は **WEB でチェック!!** → <http://www.jic-web.co.jp>



# あたたかい地の果てカムチャツカ

ヴィトウス・ベーリング記念カムチャツカ国立大学

准教授 十川 宣治(そがわ せんじ)

——ロシア語で話すことが多く、ロシア人学生と毎日交流することができ、地元のロシア人たちと深い絆を結ぶことができます。ヴィトウス・ベーリング記念カムチャツカ国立大学での語学留学は、ロシアのほかの大学では体験できない、語学的に、また人間としても、実り豊かな時間をお過ごしいただけます。

カムチャツカには、古き良きロシアがいまに残されています。ゆるやかに過ぎる時間、人びとの人なつこさ、他所者へのもてなしの心など、忙しい現代人が失ってしまった多くの大切なものが、この世界の最果ての地には残されています。いたずらをされることもあります、そのほとんどは、自分に振り向いてもらいたい、自分の仲間になってもらいたいという気持ちから出たサインであり、根は善良な人たちがほとんどです。「人間とは基本的にいいものだ。」という感覚が、こちらの人たちの間にはとても強く感じられます。これまで多くの日本人留学生在がカムチャツカで学びましたが、みなさんすぐに地元の学生に囲まれるようになり、そのあたたかい友情を深くこころに刻んで帰国しています。

国防上の理由から、ソビエト崩壊まで、カムチャツカ半島全体が外国人立ち入り禁止区域でした。その一方で、カムチャツカは水産業が盛んで海運の拠点でもあるため、多くの男性が船乗りとして日本に寄港した経験を持っています。いま市内を走っている自動車の九割以上が日本車です。日本に対しては、すぐ隣にある文明国という、憧れに近い親近感をもっている人が多く、ロシアのなかでもっとも親日的な地域ではないかと思われるかもしれません。これまでは日本に対する漠然とした関心が高かったのに対し、近年は、若者たちの間でアニメへの関心が高まり、また大人たちの間では、具体的なビジネスの可能性について関心が高まっています。ロシアの経済状況と生活水準が向上するにつれ、カムチャツカと日本の関係もより多角的になり、新しいビジネスや交流の可能性が生まれています。

カムチャツカ国立大学のロシア語留学コースでは、日本、韓国、中国の 3 カ国からの留学生在が学んでいます。人数的には中国からの留学生在が多数です。ロシア語の授業は週に 5 コマほどです。また本学留学の特長として、日本人留学生在は、できるだけロシア人が受講している日本語の授業に出

席するよう求められます。授業に出て、会話したり一緒に教科書を読んだり、訳したりするうちに、ロシア人学生とすぐに



友達になることができます。一般に留学では、日本人同士で固まったり外国人同士のつきあいが多くなったりするくらいがあります。しかし、この本学の特徴的なシステムと

カムチャツカの学生の人なつこさによって、ここでは必ず地元のロシア人との深いつきあいが得られます。

ロシアのほかの地域からカムチャツカに入る交通手段は、空路しかありません。ならず者が自由に出入りできない地域になっているため、ほかの同規模の都市に比べ、治安は格段に安定しています。真夜中にビールを買いに街に出ることもできます。民族運動や極右の行動も、近年は沈静化し、ほとんど気になりません。

カムチャツカの人びとは、過大評価といえるほど日本人を高く評価し、尊敬しています。そして当然のこととして、自分の国や民族についてプライドもあります。ロシアと日本のあいだには、単純に解決できない問題やこころ複雑になる歴史が横たわっています。瀬戸物と瀬戸物がぶつかれば壊れますが、ロシア人がなぜそう考え、そう行動するのか、理解しようとする気持ちさえあれば、そこにはかならず人間としての回路が開かれます。それを信じていいところが、カムチャツカの人びとの人気(じんき)のよさと申せましょう。

州内の在留邦人はおおむね 10 人未満で推移しており、本学の日本人留学生在は過去最大で同時期に 3 名でした。日本人が少なく、みなさんそれぞれに取り組むべきことを持っている、日本人同士のつきあいに埋もれてしまう心配はありません。実生活や学習面で困ったことがあれば、東洋語研究室の日本語が話せるスタッフや日本人教員が責任をもって対応しますし、そうしたオフィシャルな援助が必要になるまえに、親切なロシア人学生の友だちが、さりげなく助けてくれることもよくあります。

ロシアらしいロシアがいまに残る、地の果てカムチャツカの大地は、みなさんがこの地で、人生の新たな一步を踏みだすのを待っています。

JIC 国際親善交流センターではカムチャツカ国立大学への留学のお手伝いをしています。興味をお持ちの方はお問い合わせください！

# ロシア・旧ソ連製旅客機を訪ねて ～最終回 ドモジドヴォ空港撮影ツアー～

鈴木 一・平井 伸彦



2008 年 10 月 17 日、今回の旅行の実質最終日は、モスクワ・ドモジドヴォ空港での空港内撮影ツアーであった。ロシアの空港は公式にはどこまで撮影可能なのかよく分かっていない。ドモジドヴォ空港の出発ロビーでは、時折カメラを飛行機に向けている(もちろん小型のデジタルカメラではあるが)人を見かけたが、一方で飛行機にカメラを向けた途端、空港のセキュリティ職員に怒られる、というケースも少なからず発生していた。知り合いの航空ファンの中には、ロシアの空港で撮影していたら拘束された、という、経験したくない体験をした人もいる。一方で、ドモジドヴォ空港のホームページには、時折「スポッター向けイベント」と称される、空港内の撮影ツアーが開催されている様子が掲載されており、しかもそのツアーは年数回実施されているようだった。たまたま 2008 年 10 月にも開催されるとのことで、参加することができた。

ツアーは午後からだったので午前中はモスクワ市内を散策した。地下鉄 2 号線でパヴェレツカヤまで行き、パヴェレツキー鉄道駅からアエロエクスプレスに乗ることを考えたが、どうもパヴェレツカヤで出口を間違えたらしく、鉄道駅が見つからない。しかも予定の列車の出発時刻が迫っていたので方針を変え、パヴェレツカヤで再び地下鉄 2 号線に乗ってドモジドフスカヤまで向かうことにした。

ドモジドフスカヤの駅は空港に近い駅だからなのか、駅に飛行機のイラストの入った装飾がされていた。モスクワの地下鉄はどこの駅にもこうした装飾がなされているが、この駅はイリュージン 62 とイリュージン 86 が描かれているのが印象的であった。

ドモジドフスカヤからマルシュルートカ(乗り合いタクシー)に乗り換えて空港へ向かう。マルシュルートカにしては車体が大きく、ミニバスと呼んでもよさそうな車だった。1 台ほぼ満席だったので 1 本見送ると、次に来たバスはマイクロバスサイズ。運賃は発車前に係員が集めに来たが、60 ルーブルであった。地下鉄 19 ルーブルとあわせて、市内からドモジドヴォ空港まで 79 ルーブルで移動できることになる。アエロエクスプレスよりも運賃が安いので、大きな荷物を持ち運びするのでなければ結構便利である。

さて、待ち合わせ場所について担当者に電話すると、セキュリティエリアから担当の小柄な女性 D さんが出てきた。

セキュリティチェックを通過できるパスをもらい、「もう少ししたら全員でセキュリティチェックを通過してもらいます」とのこと。

ふと周りを見ると、ロシア人の航空ファンが多数。ソ連崩壊からすでに 20 年近くたつ。民間機を撮影する航空ファンもこれだけの数になったか、と思うほどであった。



<航空ファンのツアー参加者たち>

さすがに一般乗客と同じセキュリティエリアを通す訳には行かないようで、乗務員向けのエリアを通ることになった。セキュリティチェックを通過し、D さんの後をついて行くと、ランプエリア(空港の地上エリア・立ち入り制限区域)に出た。たまたま出たところに、いきなりシベリア(S7)航空の CPCR エクスプレスの広告塗装になったツポレフ 154/RA-85618 が止まっている。参加者の大半が撮影開始。もちろん叱られることはない。飛行機に乗るわけでもないのに空港のランプエリアに入っていること自体かなりの衝撃なのだが、それに加えてここがロシアであり、飛行機の写真を撮影しても叱られない、というものにわかに信じがたい。

ここでバスに乗るように促される。いつも飛行機に乗る時に使うのと同じようなバスで、まずは空港の西側の滑走路、北の端近くに置かれている 2 機のイリュージン 76 と、ツポレフ 154 の前で停車。イリュージン 76 はロシアンスカイ航空と、



<久々に見た IL-62M>

今は空港の運営のみを行っているイーストライン社の機体、ツポレフ 154B-2 は昨日搭乗したウラル航空の機体だ。イリュージン 76 の 2 機は共にエンジンが

外されて放置されている。この周辺の機体の撮影も OK で、シベリア(S7)航空が新規に導入したボーイング 767-300ER や、運航停止になったインターアビアのイリュージン 62M なども撮影できた。イリュージン 62M なんて一体何年ぶりに見



るだろう、と思ったほどだ。全員が撮影したのを確認した後、場所を変えろとのことで、再びバスに乗って移動する。

次に停車したのは空港ターミナルの真正面であった。ここでしばらく撮影するとのことだった。なぜかまたウラル航空のツポレフ 154B-2 が留め置かれており、ここをベースに撮影することにした。最近になって登場したカザン航空機製造会社のイリュージン 62 の貨物型やら、ロシア非常事態省のイリュージン 62M など、ここにもイリュージン 62 が多数駐機している。このエリアには他にもドモジエドヴォ航空のイリュージン 96 がいた他、トランスアエロ航空のボーイング 747 がエンジンのテスト中であつた。ちなみにトランスアエロ航空と言えば、元 JAL のボーイング 747 が数機転売された会社でもある。残念ながらエンジンテストをされていたのは、元ニュージーランド航空の機体であつた。

一方、正面は東側の滑走路に向かう機体が通過する誘導路になっており、様々な機体が通過していく。そんな中、



<シンガポール航空に大盛り上がり>

シンガポール航空のボーイング 777-300ER の到着で、ロシア人の航空ファン達は「シンガポールスキー」と大盛り上がりであつた。どう

も週に何度かしか飛んでこないだけに、珍しいのであろう。確かにこの機体は日本への飛来実績もないので、我々にとっても珍しいはずなのだが、ここでは旧ソ連機の魅力に完全に飲みこまれている感がある。

その後、シベリア(S7)航空のイリュージン 86 がやってきた。白い胴体に青い尾翼の塗装を纏った機体で、やはり外で見ていると結構音も大きい、機体サイズも大きい。昨日搭乗した時も大きさを実感したが、外からでも大きさを実感できる。他にアゼルバイジャンのテランエアのツポレフ 154 や、シベリア航空のボーイング 737、エアバス 319 など通過していったが、この至近距離で撮影できる機会は稀であらう。ここでの 1 時間ほどの撮影時間はあっという間に過ぎてしまった。

再びコーディネーターの男性にバスに乗るように促される。「廃棄物エリア」と私たちが呼んでいた、打ち捨てられたイリュージン 62 の置き場では下ろしてもらえないようだが、近くを通ってくれたので、マガダン航空のイリュージン 62 など一部の機体は撮影することができた。そして、バスは空港東側の滑走路の端で停車した。ちょうどシベリア航空のツポレフ 154M/RA-85619 と、ドモジエドヴォ航空のイリュージン 62M/RA-86494 が留め置かれている場所であつた。バスはエンジンを切ってしまったので、しばらくここで撮影ということ

のようだ。この場所からは非常事態省のヤク 42D も撮影でき、さらにイリュージン 62 の奥では、真っ白なヤク 40 がエンジンテストをおこなっていた。また、目の前を離陸する機体を通り過ぎて行くので、それらにカメラを向けて撮影する。日本ではまず見ることができないであろう機体が大半だったので、ほとんどの機体を撮影した。しかし半数以上がボーイングやエアバスと言った西側の機体で、旧ソ連製は圧倒的少数になってしまっていることが分かる。



<ロシア非常事態省のヤク 42>

飛行機が来ない間は、2 機の旧ソ連製飛行機を観察することができた。特にイリュージン 62 は、尻餅防止の後部脚や、後部に 4 発装備したエンジンなど特徴的な部分も多く、すでに旅客機として乗ることが難しい機体に加え、こんな至近距離で、これだけじっくり観察させてもらえる機会は二度とないだろうと思うほどであつた。

ここでの撮影は 2 時間に及んだが、あいにく雨が降ってきってしまった。再びバスに乗せられる。空港ターミナル付近でカザフスタン籍の素性のよく分からないツポレフ 134 の撮影のために止まり、その後再び西側の滑走路の方に向かった。今度は着陸機の撮影をするらしい。

こちらでの撮影では旧ソ連製の機体はほとんど来なかった。唯一撮影できたのは、KMV 航空のツポレフ 154B-2 だけだったが、エアベルリンやエーゲアン航空、英国航空などのヨーロッパ域内路線向け機材が撮影できた他、ここに置かれていた機体も一通り撮影できた。そのうち雨がひどくなってきたので、予定より 30 分早いツアーは終了することになった。少々残念ではあるが、ロシアの空港でこのようなイベントが開催されているということが衝撃的であつた。以前のロシアであればこのような状況は想像できなかっただろう。バスでターミナルに戻り、セキュリティチェックの所でバスを返却して終了。D さんが居たので、今回のアレンジのお礼を伝え持ってきたプレゼントを渡す。すごく喜んでくれたようだ。帰りはアエロエクスプレスを利用してパヴェレツキー鉄道駅へ。飛行機イベントが全て終了した。

\* \* \* \* \*

長らく紙面を割かせていただいた旧ソ連機の連載は今回で終了となります。旅行から 1 年が経過し、当時現役で飛んでいた機体が引退した、というニュースも耳にしています。現在活躍している機体も、あと 2~3 年で退役という機材計画などを聞くと、昨年秋に搭乗した機会が非常に貴重だったことを思い知らされます。この連載を読んでいただいた皆様に心から感謝いたします。ありがとうございました。

URL: <http://www.buero777.com/russian/>

<終>

# 6年の歳月、 モスクワの変化を感じる

09年夏



JIC 東京 相澤 進之助

## はじめに

今年の7月初めから9月の終わりまで約3ヶ月間、出張でモスクワに滞在する機会がありました。過去、学生時代に、留学生として1年滞在したことはありましたが、まとまった期間の滞在はその時以来約6年ぶりの事でした。自分自身の中でも学生から社会人となり視点や価値観が変わったことありますが、モスクワの進化は私のそんな程度の脱皮とは比べ物にならない程、様々な変化を感じさせてくれました。

今のモスクワを綴っていくことで、過去の様子をご存じの方にはそのときとの違いを知ってもらい、これからロシアへ旅行や留学を考えている方々にとっての参考情報となり、さらにはみなさんがモスクワに行こうという気持ちを持つ後押しになれば幸いです。

## 気候

7月9日、空路モスクワ・シェレメチエボ空港に到着したときは晴れ、着ていたシャツを脱いで半袖になるほどの暖かさでした。現地企業の駐在員の方々からはよく、ひと言「一番いい時期にきたね～」と言われていました。それは時期として暖かいこともそうですが、モスクワではサンクトペテルブルグなどのように白夜まではいきませんが、緯度が北に位置するだけのことはあり、夏至を過ぎた7月でも夜は22時からいまで日が出ていて明るいので、ちょっと遅くに出歩いていても、なんとなく安心感があります。9月末でも暗くなるのは19時くらいです。(その代わり、朝は7時半過ぎに明るくなるので、朝起きるのがつらいのですが。冬至にむかってだんだん暗い時間が1日を占めていくようになります。)私が滞在した期間は、とても過ごしやすい時期でした。

それでも9月30日に現地を発つときには、天気は同じ晴れでしたが、気温は10℃、長袖シャツにジャケットではちょっと寒く、冷たい風が身にしみるぐらいの気候になっていました。短い夏を実感した瞬間でした。

## 買い物

ここ数年でスーパーマーケットがかなり増えました。私の住まいは市内南西、地下鉄で中心から30分弱くらいの位置、

「ベリヤーエボ」という駅が最寄りの住宅街でしたが、駅から5分圏内に3つスーパーマーケットがあり、そのうち2つは24時間営業でした。モスクワのような大都市でも、いわゆるコンビニがないので、遅い時間にちょっとしたものを調達するには24時間スーパーが重宝します。惣菜を置いている店もあります。ただ日本で同じようなものを買うのと比べて2倍くらい高いものもあり、気軽には利用できませんが・・・。

以前、生鮮食料品の調達はそこら中のレイノック(市場)で、青果店、肉屋、乳製品屋、お菓子屋と一軒一軒覗いて欲しいものを買っていたものです。日用品の市場ではタオルや靴下などの衣料品から、友人はブーツ、皮のジャケット、までも市場で買っていました。



くずらっと並んだお惣菜&gt;

ロシア政府の方針もあり、今はそういった昔ながらの市場は閉鎖され、どんどん規模を縮小しています。私は欲しいものを一つ一つ伝えて買うレイノックでのやり方は正直なところはあまり好きではなかった(ロシア語の練習にはなりましたが)、スーパーを利用する機会が増えたことは私にとって

くうどんのファストフード店の  
ランチセット>

は便利になったと言えます。ただ、失われゆく昔ながらのロシアの日常景色を想うと、やはり寂しい気持ちになります。

キエフ駅そばのエヴラペイスキー、クールスク駅そばのアトリウムなど、大型のショッピングセンター

も増えました。店舗として入っているのは、ファッションや化粧品、時計や宝石などを扱う店やスーパーマーケットといったラインアップで、テナント名を見ても大体どこも一緒に変わり映えしませんが、いつも人であふれています。

上に挙げたような鉄道駅周辺は、大概以前は何もなかったところ、いわゆるジブシーの吹き溜まりみたいになっていたものですが、今はその面影もまったくありません。

よく言われることですが、物価は本当に上がりました。私の留学時代は対ルーブルレートはおおよそ1ルーブル=約4円で計算していましたが、今や約3円。円高の恩恵を受けているにも関わらずそれを感じさせない物価水準はロシア人にとっては相当に大変だろうということは想像に難くない



ことです。

ただ物価がどれだけ高くなっても、酒代が相変わらずお財布にやさしいことはあまり変わっていません。ロシアのビールだと 20-30 ルーブルくらいで、日本円で 100 円に満たない金額です。西側から入ってくる輸入ビールも種類豊富で(私はチェコのビールが好きですが、)こちらも 500ml の瓶 1 本が、30-50 ルーブル(100-150 円)くらいで購入できます。また最近ではアサヒビールがロシアのビール会社であるバルチカ社と提携をしているため、どこのスーパーや街の酒屋、ちょっとしたキオスクを覗いてもスーパードライが売られています。440ml 瓶一本で 50 ルーブル(約 160 円)くらいなので、日本での販売価格に比べても、少し安い程度で買えてしまいます。ほかに日本のビールだと麒麟の一番搾りもわりと簡単に買えます。

私はよく冷凍のペリメニを茹でて醤油をかけて晩酌をしていました。ちなみに JIC きてのビール党 H さんによると、ペリメニに”わさびマヨネーズ”をつけて食べるのが、一番ビールに合うそうです。試してみてください。

ワインもおいしいものが安価で売られています。以前はロシアのおみやげにグルジア産ワインを買っていましたが、両国の関係が悪くなった今はどこにも売られていません。アブハジアやウクライナなど黒海に近い地方のワインがそれに近く、200 ルーブル(650 円)くらいで十分おいしいワインが手に入ります。

それから、ロシアといえばウォッカ。このイメージをお持ちの方はとても多いと思います。しかし私はモスクワで何回もあったお酒の席で、ウォッカを飲んだのは 2 度だけでした。今、ロシアではビール人口が増えていて、若い人を中心としてビールが好まれています。これも時代の流れなのでしょう。

## 交通

モスクワの公共交通機関の中で進化したと感じたことは、バス・トロリーバス・路面電車の共通カードが現れていたことです。昔は事前に切符を買っておいて、乗りこんでから自分で車内に設置された機械でパンチ穴を開けていました。車掌がたまに車内にいて、キセル乗車のチェックをしていました。それが今や車内にある改札ゲートでコントロールされています。時代は進んでいくものです。また、それに伴って車両も新しいものがだいぶ増えました。



＜地下鉄構内を見学中のグループ＞

地下鉄は駅がどんどん新設され、路線が拡張しています。中心から放射状に延びる線がさらに延々広がって、段々と郊外へ

と向かっています。それは首都モスクワの人口が増加の一途をたどっていることの表れでもあります。7 年前は 850 万だった人口が今や 1050 万人。モスクワ近郊を含めた首都圏人口は 1400 万といわれています。車を所有する人も増え、街はうんざりするほどの渋滞の毎日です。他都市とはレベルが違います。

ウラジオストクやサハリンではよく日本の中古車が出回っていて、日本車は人気があるという話をご存じの方もいらっしゃると思います。〇〇商店と書かれた軽トラックなど、過去の所有者の名残が残った車を、書かれた言葉の意味もわからず乗っているロシア人を実際よく見かけるものです。モスクワではメルセデスや BMW など西側の車も人気がありますが、日本車もよく目にします。人気はトヨタのランドクルーザー。ホンダの CR-V や日産エクストレイルも毎日見ます。少し都心を出ると道路環境が悪くなることもよくあり、オフロードや雪道などを走るのにはやはり 4WD が人気のようです。ほかにも三菱ランサーやホンダのインスパイアなどのセダンも人気があります。軽自動車はたまにダイハツ車などを見掛ける程度です。

## 旅行

モスクワはヨーロッパ・ロシアに位置するだけあって、当地からのヨーロッパ・中東方面への旅行の便の良さは日本と比べると抜群です。列車で移動するなら、国内ではサンクトペテルブルグやカザン、海外ではウクライナのキエフやベラルーシのミンスクへ夜行列車に乗って一晩で着きます。フィンランド・ヘルシンキまで飛行機で 2 時間弱、エジプト・カイロが 4 時間、UAE・ドバイが 5 時間といった距離感覚です。旅行好きの駐在員の方で金曜日に仕事が終わってから列車や飛行機に乗り込んで、土日観光してモスクワへ戻るといふ方もよく見受けられます。



＜エストニア・タリンの街並み＞

ある方がウズベキスタンに旅行するためモスクワでビザを取得しました。モスクワのウズベキスタン大使館は JIC モスクワ事務所から歩いてすぐの場所にあります。朝行くと、ものすごい人数が大使館の入り口を囲んでいます。日本にあるウズベキスタン大使館では見られない光景です。それは大勢のモスクワ在住ウズベキスタン人が、滞在問題などで入館制限を受けているのです。はじめはその様子を見ると委縮してしまうのですが、ビザを取得するセクションへ用事がある人の集まりではないので、強引に人ごみをかきわけて入口にたどりつき、警備の人に「ビザを取りに来ました」というと中の領事部へすんなり通してくれます。なぜならビザ取得のため来館する人は少数派だからです。どうやら中央アジアの

大使館に行くと同じような光景に出会うようです。そんな事情を知らないと何時間待っても敷地内にすら入れません。モスクワで中央アジアのビザをとる機会がありましたら、勇気をもって飛び込んでください。

## 治安

ここ数年は治安の大きな変化はないように思いますが、観光地、地下鉄など人が集まるところを中心に、外で見かける警察官の数が相当増えたような印象があります。

相変わらず止むことはいないテロへの対策にはやはり万全を期している雰囲気を感じました。私は 3 ヶ月の間で一度も通りを歩いているときに警察官から声をかけられることはありませんでした



＜街中の有料トイレ＞

が、観察していると中央アジア、中東系の方がパスポートチェックを受けている場面に遭遇しました。警察官が 2 列 30 人くらいで旧アルバート通りの道の真ん中を歩いていたのはとても印象的でした。

## 通信

数年前にロシアで登場した携帯電話もすっかり市民権を得て、今や老若男女問わず使用している様子が見られます。野菜などを道ばたで売っているおばあちゃんが携帯で話している姿も決してめずらしくありません。

長期で日本を離れると国際電話の機会も増えますが、国際電話カードを使ってかけるのが得なので、もっぱらそちら



＜郊外のダーチャ(別荘小屋)＞

を利用します。街中のカード屋さんで購入し、カード会社の番号にかけて自動音声に従ってそのカードに書かれている数字とかけたい電話番号をプッシュするというとても簡単なものです。私が使っていたカードは 500 ルーブル(約 1500 円)のもので、日本の携帯番号で 1 時間、固定電話では 3 時間話すことができました。

日本の生活では欠かせないインターネットですが、モスクワにおいてもここ数年で高速回線が通り、非常に便利になりました。スカイプも問題なく使えますので、ユーザー同士での無料テレビ電話も可能な時代となりました。もちろん動画もスムーズに見られます。私は毎朝動画配信された日本のニュースを見ながら朝食をとっていました。

## 終わりに

このように文章にして 3 ヶ月を振り返ると、モスクワは変わったという事実を自分の肌で感じてきたのだな、と改めて実感させられます。

過去の姿を知る方にとっては今のモスクワを見ると驚きでもあり、どこか寂しさも感じられるのではないかと思いますし、またこれから初めて生のモスクワを見る方には、現在持っているイメージとの違いに新鮮な驚きを感じることも少なくないように思います。ロシアといえば、寒い、広い、ウオッカ、あの毛皮の帽子。依然として、まだまだ日本で報道される情報も限られ、よくわからない、知らない隣国の本当の姿を、目でも見て体感すること、お勧めしたいと思います。

＜ 終 ＞

# 神戸市外国語大学 語劇祭

毎年恒例の神戸市外国語大学・語劇祭。その日がもう目の前に近づいてきました！今年も日頃のロシア語学習の成果が存分に披露されることでしょう。今年の演目は、ヴァンピーロフの「長男(Старший сын)」です。かなり本格的な語劇で、いつも学生さんたちの演技力とロシア語の発音、語劇に対する熱意には感心させられます。本当に完成度が高いですよ。もちろん、ロシア語の分からない方でも楽しんでいただけるよう字幕の用意もありますので、お時間のある方はぜひ観に行ってみてください。

日時:2009 年 11 月 14 日(土)、15 日(日)

(ロシア語劇団の語劇は 14 日(土)14:30~16:30)

場所:神戸アートビレッジセンター(神戸・新開地)

神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL:078-512-5500

\*神戸高速新開地駅東出口より徒歩 5 分

\*JR 神戸駅より徒歩 10 分

\*神戸市営地下鉄湊川公園駅より徒歩 15 分

料金:500 円(両日有効)

## JICは頑張る人を応援します！

旧ソ連関係のイベント案内掲載をご希望の方は JIC までご相談ください。イベント時期の約 2 ヶ月前に情報をお送りください。JIC インフォメーションの発行は、1・2・4・6・9・11 月の 6 回となります。

掲載内容が JIC の活動に合わない場合はお断りする場合がありますのでご了承ください。



大学でロシア語を学び始めて 3 年、学生の特権である長い夏休みを利用して毎年ロシアを訪れています。大学 1 年のときには 2 週間のシベリア鉄道旅行、2 年では 1 ヶ月の夏期語学研修で短期留学を経験、3 年の今年は 1 ヶ月 JIC でインターンシップをさせていただくため、またロシアへやってきました！どの年も、観光客や学生、社会人など様々な視点でロシアの多様な顔を見ることができ、新しい発見もたくさんあり、やはりロシアっておもしろいな、好きだな、と感じています。

どれも貴重な体験でしたが、初めてロシアを訪問した 2007 年 9 月のシベリア鉄道の旅がやはり一番印象に残っています。きっかけはアクティブなおばあちゃんからのお誘い。初めてのロシアへの 2 週間旅行、ウラジオストクからモスクワまで、ロシアを横断するシベリア鉄道に乗る旅でした。ご存じの通りウラジオストクからモスクワまでは特急で、かつ一回も降車することなく乗車しても、約 1 週間にかかるという想像を超えた距離なのです。私も特急のロシア号でウラジオストクからモスクワまで途中下車しながら・・・2 週間かけて横断しました。

訪れた街は、まず出発地であるウラジオストク。ここは発展途上と言わんばかりに工事や建物の建設がいたる所でなされていました。次にイルクーツク。シベリアの自然がたくさんあり、バイカル湖は本当に海かと思うくらいの大きさでした。そしてクラスノヤルスクは古都が現在まで残っているという印象を受ける静かな街でした。この 3 都市を経て、首都モスクワへ・・・。



もちろん車内にお風呂はないので、最長で 4 日間も体をふいて過ごしました。車内ではぼーっと広大なシベリアの自然を眺めながら本を読んだり、たまーに勉強したり、鉄道の中を探検したりして時間を過ごします。列車に乗っているのは観光目的の人や帰省帰りの人、モスクワにいる家族へ会いに行く人などロシア人からアジア系、欧米の方々まで様々です。日本人の大学生さん

も 1 人旅でシベリア鉄道に乗車されていました！旅行で乗車していたアメリカ人もとっても元気！

最初はロシアの人たちと言えば怖いイメージがあったんですが、実際は全然違います。話してみるとみんな温かくて優しくて、当時の私は今よりもっとロシア語力がなかったのに、私の下手なロシア語に耳を傾け、うまく伝わると「マラジェツ！(えらい！)」と褒めてくれました。車掌さんは、「列車の中は寒くないか」と心配りをしてくれたり、わざわざ



布団を敷いてくれたり、とても親切にサービスを提供してくれました。食堂車ではコックさんが朝、昼、晩とボリュームたっぷりのおいしいロシア料理を用意してくれ、「オーチン・フククスナ！(とっても美味しい！)」と言うと「よかった！君のために作ったんだ。」と冗談まじりに話してくれました。乗客の人たちも挨拶をすると笑顔で返してくれて、とてもフレンドリーでした。子供たちもたくさん乗っており、ロシアの単語を教えてもらう代わりに、日本の漢字を教えてあげました。「学校でみんなに教えて自慢する！」と言っていました。やっぱり外国の文字ってカッコよく見えるものなんですね。会ったばかりなのに娘のように可愛がってくれる女性にも出会いました。今までのロシアに対するイメージが一転したといっても過言ではないほど、いい出会いがたくさんありました。

シベリア鉄道は日本の新幹線のように静かでもなければ速くありません。ですが、その分乗客同士の交流があつて、素晴らしい人たちにめぐり会えます。慣れてくると列車の揺れも心地よく、窓から見るシベリアの景色は壮大で地平線がきれいに見え、贅沢な時間を過ごせます。空ってこんなに広いんだ、と感じたのはこの時が初めてでした。あの時の感動や素晴らしい出会いは今も鮮やかに思い出せますし、私の人生で忘れられない旅になりました。

時間が経つのも忘れてしまうほどの素敵なシベリア鉄道の旅、「まだしていない！」という方は是非一度経験してみてください！私がロシアに毎年来たいと思うきっかけとなった、思い出深い鉄道旅行です。

< 終 >



## 私の初ロシア ～シベリア鉄道の旅～

石田 真帆 (京都産業大学外国語学部3年)

## 書籍紹介

## 『揺れる大国～プーチンのロシア』

NHK 出版 価格 ; 1300 円 + 税

今年 3 月に NHK スペシャルで放映され(4 回シリーズ)、大きな話題を呼んだ番組内容が本になった。

本書の構成は、番組と同じく、

第1章 プーチンのリスト～強まる国家資本主義

第2章 失われし人々の祈り～膨張するロシア正教

第3章 離反か従属か～グルジアの苦悩

第4章 プーチンの子どもたち～復活する軍事大国となっている。

番組そのものは、ソ連崩壊と東西冷戦終結のあと「ひとり勝ち」を謳歌してきたアメリカが 2001 年 9 月の同時多発テロとその後のアフガニスタン戦争、イラク戦争の泥沼で国力を低下させる中、次の時代を担う新興国 BRICs(中国、ロシア、インド、ブラジル)の一角として復活、台頭してきたロシアが今後どこに向かうのかという問題意識で取材が開始された。そこに昨年 8 月以来顕在化した世界同時不況の影が重なることで、取材内容はさらに時代を映した重層的なものに修正が加えられたようである。

評者自身は、この同時不況の中でロシア経済の立て直しをプーチン・メドベージェフ政権がどのように進めようとしているのか、その下で人々の生活がどのように変わろうとしているのかを扱った第 1 章と第 2 章をとくに興味深く読んだ。

BRICs のうち、中国、インド、ブラジルがいち早く世界同時不況からの立ち直り傾向を見せる一方で、ロシアだけはいまだ深刻な経済不振に喘ぎ続けている。本年 4-6 月期のロシア国内総生産 GDP は前年同期比マイナス 10.9%に落ち込み、2009 年通年の成長率はマイナス 8.5%になる見通しだと報道されている。

2003 年以来年率 7%の成長を続けてきたロシア経済の旺盛な資金需要を支えていたのは欧米の金融機関だった。ロシアの銀行、企業の

対外債務は 2008 年 6 月末には 5000 億ドルにまで膨らんでいたが、この同時不況で欧米金融機関は一斉に融資打ち切りに動き、「流動性の低下」が一気に進んだ。モスクワ市内はじめロシア各地で進められていた大型建築・開発事業は軒並み中断され、消費は落ち込み、ロシア企業は今や「総崩れ」の様相を呈している。頼みの原油価格も下落を続け、昨年 12 月には最安値(1 バレル=31 ドル)をつけた。原



油価格の低下に連動して通貨ルーブルは一時ピーク時(1 ドル=22 ルーブル)から 50%近く下落した。その後原油価格は 1 バレル=70 ドル台まで持ち直し、通貨ルーブルも 1 ドル=30 ルーブル前後で推移しているものの、「資源頼み」だけのロシア経済は一向に上向かない。ルーブル安による輸入価格の高騰で、国内消費はますます冷え込んだままだ。

本書では、この経済危機をプーチン・メドベージェフ政権が、国家資本主義的な企業再編で乗り切ろうとしている様子が描かれている。原油高時代に貯め込んだ外貨準備 6000 億ドルをもとに創設された「安定化基金」を使って、資源・エネルギー、ハイテク分野など国家が戦略的に必要とする企業に支援を集中し、企業に対する支配力を一段と強化しようとしているというのだ。それが番組のタイトルとなった「プーチンのリスト」だ。

確かにそのような傾向が強まっていることは事実だろう。しかし、では国家資本主義的な介入と支援によって、ロシア経済の建て直しと戦略企業の再編は果たしてうまく進むの



であろうか？ そもそも国家の過度の介入は市場経済には馴染まない。政府支援によって資金不足を一時的に解消しても、長期的に企業の技術革新を推し進め、合理化と生産性の向上をはかれないと、結局は「資源頼み」の経済からは抜け出せない。独占的な戦略企業を保護するだけでなく、経済の広範な裾野を形成する中小企業を大量に育成しないと社会全体の活力は生れないし、民主主義も健全に育たない。企業に合理化と成長を促すのは結局のところ競争経済の原理であることを忘れてはならない。シリーズ取材ではそこまで深く追求することは難しかったのだろうが、残念ながら本書からはロシア経済の今後の姿はまだ定かには見えてこない。

経済問題を扱った第 1 章には不満が残るものの、第 2 章以下、ソ連崩壊以後の市場化の進展と社会の激変の中で、ロシア社会と人々の価値観にどのような変化が進行しているのか、またグルジア戦争が端的に示した多民族国家に生きる人々の苦悩など、どの章も現在のロシアを知る上で大変参考になる。

また、2 章と 3 章の間に置かれた番組プロデューサー・高尾潤氏の解説は、1999 年のプーチン首相代行の登場から今日に至るプーチン体制の変遷を概観しつつ、現在のメドベージェフ大統領+プーチン首相「タンデム政権」の本質を「政治選択の幅を広げるためのバランス確保」という見地からコンパクトに整理していて、小文ながら、キレの良い解説となっている。忙しい人には解説だけでも一読をお奨めしたい。





## ～追記～

## ロシア経済の今を理解するための 2 冊の参考書

先に提出したロシア経済に関わる疑問を解くカギを与えてくれるのが、以下の 2 冊。

## 『ロシアと世界金融危機～遠くて近いロシア経済』

酒井明司著・東洋書店 価 1600 円＋税

著者は現役の商社員。長らくソ連・ロシアとの貿易に携わってきた経験をもとに、ロシアとのつきあい方から始めて、ソ連時代から現在に至るロシア経済の特徴、世界経済金融危機の中でのロシア経済の現状と見通しを、平明に分かりやすく解説している。特に第 2 章「ロシアの経済はどう見ればいいのか？」は、ソ連時代からの負の遺産、広すぎる国土を経営する困難や、計画経済・統制経済の弊害とくにロシア経済のアキレス腱である金融システムの未成熟などの問題をおさえつつ、ソ連崩壊後のショック療法から 98 年金融危機、プーチン時代の経済などを年代を追って分析しており、今日のロシア経済の課題を理解する上で大いに参考になる。

## 『株式会社ロシア～混沌から甦るビジネスシステム』

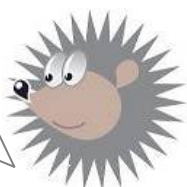
栢俊彦著・日本経済新聞社 価 1900 円＋税

本書の刊行は 2007 年 10 月なので、その後の世界経済の激変は反映されていない。しかし、「ロシア的な市場経済化」を模索するロシア経済がかかえる問題点を丹念な取材に基づいて鋭く抉り出しており、今後のロシアを考える上で多くの示唆を与えてくれる。ソ連崩壊後の国営企業の民営化、とりわけ「担保オークション方式」と呼ばれる方法でオルガルヒ(政商)たちが限りなく詐欺的な手口で国家財産を掠め取り、巨大独占企業グループを築き上げたことが人々の恨みを買ひ、国民の間に長く市場経済に対する不信感を根づかせ、ロシア社会経済の民主主義的基盤の形成を阻害してきたこと、そのような中でも国家によるビジネス環境の整備と中小企業の育成、資源依存経済から内需依存型経済への脱却を目指す企業家たちの運動がプーチン政権の経済政策に影響を及ぼしつつあることなどを分析した第 1 章と第 2 章は圧巻だ。ペレストロイカ以後の 20 年間を振り返り、ロシア社会の民主化、市場化を推し進めてきた自由派知識人・政治家たち 8 名にインタビューした内容をまとめた第 5 章も歴史資料として興味深い。

(JIC 東京 伏田昌義)

JIC のホームページを  
チェックしよう!

<http://www.jic-web.co.jp>



## JICモスクワ通信Vol. 18

## マトリョーシカはなぜ生まれたか?

ロシアに興味のある方はもちろん、マトリョーシカのこともよくご存知だと思います。最近ではロシアについて特に興味がない方にもマトリョーシカについてはよく知られるようになってきました。マトリョーシカ(Матрёшка)はロシアの伝統的な木の玩具です。現在ではマトリョーシカは疑いなくロシアの象徴となっています。



しかし実はマトリョーシカの歴史はそんなに長くありません。最初のマトリョーシカは 1890 年代に作られました。しかし、そのアイデアがどこから来たのかは未だ不明です。マトリョーシカが生まれた経緯については 2 つの説があります。

## &lt;その 1&gt;

19 世紀末にロシアにマーモントフという有名な家族がいました。その家族のアナトーリー・マーモントフが日本を旅行した際、こけしに



出会いました。マーモントフはこけしを大変気に入り、ロシアへ持ち帰りました。帰国後、こけしをマリューチンという画家に見せ、似たような感じのロシアの玩具を作るようお願いしたのです。マーモントフ家が所有していた「子供の教育」という研究室の工房で、ズビョーズドチキンという「ろくろ」工は白木の型をつくり、マリューチンがそれに絵を描いた結果、最初のマトリョーシカが誕生したということです。

## &lt;その 2&gt;

ロシアでは以前から物入れの玩具が流行っていました。その中に、イースターエッグがありました。3 個入り、5 個入りのイースターエッグがよく作られていたそうです。そのエッグの作り方を真似して、ズビョーズドチキンとマリューチンはマトリョーシカを作ったということです。

上記の説のどちらが本当なのか誰も知りません。ただそれは別にして、日本とロシアには似たような木の玩具が存在していることは確かです。

沼田元氣さんのマトリョーシカツアーは JIC 旅行センターで手配し、10 月の中旬に催行されました。ロシア歴史博物館、マトリョーシカ博物館、セルギエフ・パッサート市立玩具博物館に、沼田さんは日露友好の大使として、自分のこけしコレクションを贈呈しました。ロシアのマトリョーシカ作家は、日本のこけしに大変高い関心を寄せています。来年あたり、ロシア人の「こけしツアー」が実現するかもしれません。

(JIC モスクワ トカチェンコ・ドミトリー)

## JIC のロシア語講座 途中入講可能!!

10 月から 2009 年度後期のロシア語講座がスタートしています。途中入講可能ですので、お気軽にお問い合わせください! 見学もしていただけます。

**東京**

TEL: 03-3355-7287

jictokyo@jic-web.co.jp

受講料: 前期 全 17 回 51,000 円

会場: 国際親善交流センター東京オフィス (東京・四谷)

クラス: 初級 (火)、中級 (水)、文学講読 (木)

時事会話 (金)、使える会話① (土)

時間: 火～金 19:00-20:30、土 10:45-12:15



**大阪**

TEL: 06-6944-2315

jicosaka@jic-web.co.jp

受講料: 前期 全 15 回 35,000 円

会場: 国際親善交流センター大阪オフィス (大阪・天満橋)

クラス: 入門 (火)、初級 (木)、中級 (金)、上級 (月)

時間: 19:00-20:30

ご希望の方は、お気軽にお問い合わせください!!

## ЯПОНСКИЙ ЯЗЫК

Курсы Японского Языка.



Преподавание на русском языке!

～ロシア語で教える日本語講座 後期開講中!～

クラス: 入門・初級・中級の 3 クラス

学 期: 各クラス 10 月 6 日 (火)～12 月 18 日 (金)

までの全 21 回 途中入講可能!

授業料: 各クラス 63,000 円 (21 回)

授業日: 毎週火曜・金曜の週 2 回 (祝日は休講)

授業時間: 1 授業 90 分 入門クラス 12:30-14:00

初級クラス 14:30-16:00

中級クラス 16:30-18:00

会場: JIC 東京オフィス会議室 (東京・四谷)

問い合わせ先: JIC 東京

TEL: 03-3355-7287 FAX: 03-3355-7290

E-mail: jictokyo@jic-web.co.jp

## \*\* JIC のロシア語研修 \*\*

### ロシア長期留学 4 月生・募集中

【期間】2010 年 4 月より 10 ヶ月

【締切】2010 年 1 月 15 日

モスクワ大学 ¥603,000 (授業料 10 ヶ月)

サクトペルブルグ大学 ¥472,000 (授業料 10 ヶ月)

ウラジオストク極東大学 ¥350,000 (授業料 10 ヶ月)

\* 上記の金額以外に別途、寮費、手配料、渡航費用、ビザ代金及び取得手数料などがかります。

予価です!



### ロシア語個人研修 (随時募集)

★モスクワ・ダリパス社 1 週間～4 週間 (ホームステイ 2or3 食付)

★モスクワ大学 3 週間～長期 (大学寮 1 人部屋)

★G & R インターナショナル 1 週間～長期

(ホームステイ 2 食付/大学寮 2 人部屋)

★ペテルブルグ・パートナー社 (ホームステイ 2 食付)

★ペテルブルグ大学 1 ヶ月～長期

(大学寮 1 人部屋/2 人部屋)

★ウラジオストク極東大学 1 週間～1 ヶ月 (ホームステイ 2 食付)

★ビジット生活体験コース (ホームステイ 3 食付)

### ロシア語グループ&個人研修 (随時募集)

リデン&デンツ スイスの会社出資のロシア語学校。

個人・グループレッスン。モスクワとペテルブルグにあり、インターナショナルな雰囲気。初心者より上級者まで。2 週間より可能。基本はホームステイ 2 食付。詳細はパンフレットをご覧ください。



### デルジャーヴィン・インスティテュート

全ロシアプーシキン博物館の協力により設立された学校で、18 世紀の建物内で授業が行われます。アットホームな雰囲気でお勧めです。グループレッスン、1 週間より可能。基本はホームステイ 2 食付。詳細はパンフレットをご覧ください。



### ◆ ロシア留学旅行相談 (東京・大阪各 office) ◆

ロシア留学・旅行のお問合せ・ご相談に  
応じます。お気軽にお越しください。

東京事務所 平日 10-18 時 土曜 10-16 時

大阪事務所 平日 10-18 時 土曜 (6-9 月のみ) 10-16 時

留学・研修各種パンフレットは JIC へ  
ご請求ください。留学・旅行相談お気軽に!



# ロシア (旧ソ連圏) にお友達をつくりましょう!

ペンパル募集しています!

① Name ② Sex ③ Born(Age) ④ Address ⑤ E-mail ⑥ Occupation, Hobby ⑦ Language

① Kane Julia ② Female ③ 12.12.1991 ④ Russia, St.Petersburg ⑤ Innamoramento@mail.ru ⑥ music, singing, art ⑦ English, Russian. I know only several phrases in Japanese.

① Skudin Denis ② Male ③ 20 years old ④ Russia ⑤ villain1234@yandex.ru ⑥ travel ⑦ Russian, English

① Tregubova Valentina ② Female ③ 02.04.1983 ④ Russia, Sibir, Novosibirsk ⑤ gekada@mail.ru ⑥ Dance, swimming, snowboard ⑦ Russian



① Alexeeva Anastasia ② Female ③ 1989 ④ Estonia, Tallin ⑤ wild-flower8@live.com ⑥ Music, film, reading, photo ⑦ English, Russian

① Dubovsky Alexander ② Male ③ 1986 ④ Russia, Volgograd ⑤ eldespirado@gmail.com ⑥ My interests; music, drawing, swimming, computer graphics & games, watching anime. Well actually, I'm a many-sided person. I'm interested in culture of foreign contries, a little bit in psychology and philosophy too. And I like Japanese music so much. ⑦ I would like to correspond on English and Russian. My Japanese is very poor now. But I would like to develop my Japanese language skills in the future as well.

① Ivanova Margarita ② Female ③ 1988 ④ Ukraine ⑤ dizwl@yahoo.com ⑥ Music, poem, Japanese art ⑦ Russian, English

① Voronina Iryna ② Female ③ 1982 ④ Ukraine, Sebastopol ⑤ nirok07@mail.ru ⑥ diving, literature, travelling ⑦ Russian, English

① Kristina ② Female ③ 1989 ④ Russia, Tveli ⑤ Kendn@yandex.ru ⑥ correct dolls, drawing, pet ⑦ Russian

① Baranchikov Alexander ② Male ③ 1983 ④ Russia, Moscow ⑤ fox1919@yandex.ru ⑥ music, sports, travel, Japanese anime ⑦ Russian, English

① Sergei ② Male ③ 1980 ④ Russia, Volgodonsk ⑤ palas2010@mail.ru ⑥ History, music, art etc ⑦ English, Russian

① Nikoraichuk Olesia ② Female ③ 18.07.1990 ④ Ukraina,

Lutsk ⑤ TheSkyAbove@yahdex.ru ⑥ here is my page: <http://vkontakte.ru/id13193319>, nick name is Nicole Erin. I'm interested in art, international relations, Japan, interesting people, travelling, sky, photography. ⑦ English, Polish, Russian



① Artemenko Dasha ② Female ③ 02.03.1986 ④ Russia, Khabarovsk ⑤ cheza.gr@gmail.com ⑥ reading, music, travelling, Foreign language, snowboard ⑦ English, Russian

① Glazkova Irina ② female ③ 1976 ④ Russia, Ozersk ⑤ glazkovir@mail.ru ⑥ Biology, Aikido ⑦ English

① Sukhanova Anna ② Female ③ 1980 ④ Russia, Moscow ⑤ suhanova1980@mail.ru ⑥ Japan, Japanese culture, anime, manga, Japanese language ⑦ English, Russian, Japanese

① Sergei Kaprin ② Male ③ 07.12.1994 ④ Russia, Bryansk ⑤ Friend32rus@ya.ru ⑥ Japan, Anime, Studying, Sports ⑦ Russian, English



① Sinitsina Ekaterina ② Female ③ 1986 ④ Russia, Moscow ⑤ let\_it\_fly@bk.ru ⑥ Music, travelling, Foreign languages (Japanese, Korean), nature, reading, film,

photography, J-pop, Japanese and Korean drama ⑦ Russian, English, Japanese, Korean

① Novikov Andrei ② Male ③ 1989 ④ Russia, Lipetsk ⑤ vantas1989@rambler.ru ⑥ computer ⑦ Russian, English, Japanese

① Yankova Elena ② Female ③ 1987 ④ Russia, Penza ⑤ goladriel@rambler.ru ⑥ literature, history, travelling, tea history ⑦ Russian, English

① Glukhova Maria Nikolaevna ② Female ③ 1992 ④ Russia, Tatarstan, Naberezhnie Chelni ⑤ mariska-92@mail.ru ⑥ Theater, Music, Japanese film, drama, music, anime, manga. Especially, I like Ikuta Toma. ⑦ Russian, English

① Kurbankulov Iliyar ② Male ③ 1991 ④ Kazakhstan, Almaty ⑤ ramantik01@mail.ru ⑥ Sports, film, game ⑦ Russian, English

① Belov Alexander ② Male ③ 1987 ④ Russia, Kostroma ⑤ firebird-inferno@mail.ru, firebird-inferno@yandex.ru ⑥ Japan, reading classical literature ⑦ Russian



## 11~1月の予定

11月 7日(土)JIC 大阪 ロシアセミナー  
 11月14日(土)JIC 東京 ロシアセミナー  
 12月 5日(土)留学相談会(東京)※要予約  
 12月19日(土)留学相談会(東京・大阪)※要予約  
 12月30日(水)~1月4日(月) 年末年始休業  
 1月16日(土)JIC 大阪 ロシアフェア  
 1月16日(土)留学相談会(東京)※要予約



最新情報は JIC のホームページでご確認下さい!

## ◆年末年始の営業のご案内◆

年末年始の営業は下記の通りとなっております。

**年末の営業終了日:2009年12月29日(火)18:00まで営業**

**休業日時:12月30日(水)~1月4日(月)まで休業**

**年始の営業開始日:2010年1月5日(火)10:00から営業**

## ◆◆編集後記◆◆



あつという間の夏が終わりました。秋が来た、  
 と思ったらもう冬がすぐそこに来ています。夏か  
 ら秋にかけては私にとって山がもっとも楽しいシーズン。普  
 段は山にばかり出かけますが、今回は海の話の少し。。

夏の忙しい合間を縫って、鹿児島県の与論島へ行きました。  
 周囲 23km の小さな島で、海がとにかくきれいなことで有  
 名です。これといった観光スポットはありません。ただただの  
 んびり過ごすのに最適な場所です。レンタルバイクで島をく  
 まなくドライブ(?)したり、海でシュノーケリングをしたり、商  
 店で食べ物を調達してビーチで1日中ボーっとしたり。贅  
 沢な時間を満喫しました。

ちなみにこの方言は、日本語とは思えない言葉です。  
 地元の方の会話やラジオの放送はまるで外国語のようでした。  
 「農協」とか「保険証」とかおばあちゃんたちの会話に出  
 てくる、いかにも生活感あふれる名詞は理解できましたが、  
 あとは全く。。どこか外国に来たような感覚でした。

この与論島を舞台にした映画をご存知ですか?「めがね」  
 という映画ですが、この島の魅力をそのまま伝えています。  
 興味がある方はぜひ見てみてください。

最後は山の話で締めくくりましょう。前号でお知らせした  
 スタートしたばかりの JIC 山岳部の活動ですが、すでにもう3  
 回も活動が行われました!立山、木曽駒ヶ岳、美ヶ原・霧ヶ  
 峰。難易度はそれぞれ異なりますが、どれも日本 100 名山  
 に名を連ねています。青空がまぶしい夏山も、紅葉に染ま  
 る秋の山もとっても素晴らしいですよ!冬の山岳部の活動  
 もひそかに楽しみにしています。1 年目の冬は本格的な登  
 山というよりは、冬山を楽しむような活動にしたいと思いま  
 す。  
 (JIC 大阪 小西章子)

## ロシアフェア 大阪 新年会!

在阪のロシア人(旧ソ連圏)の方々、  
 ロシアファンの日本人が大勢集まる JIC ロシアフェア!  
 今年は新年会として行います。情報交換の場として、また  
 お友達をつくる場としてどうぞご活用下さい。ロシア語を  
 学んでいる方にとっては、授業や教室では使わない日常  
 のロシア語を話してみるチャンスです。持ち寄り式のパー  
 ティーなのでお一人1品(食べ物・飲み物など)をお持ちく  
 ださい。ロシア旅行・留学の相談コーナーもあります。ぜ  
 ひこの機会をお見逃しなく!



日時: 1月 16 日(土)13:00~17:00

会場: ドーンセンター(大阪天満橋) 4階

参加費: 1,000 円(当日受付にてお支払いいただきます)

申込方法: 参加者全員の氏名・電話番号・住所を TEL・

FAX・E メールで JIC までお知らせください。

申込先: 国際親善交流センター(JIC)大阪

TEL: 06-6944-2315 FAX: 06-6944-2318

E-mail: jicosaka@jic-web.co.jp

申込締切:2010 年 1 月 15 日(金)

**留学・研修各種パンフレットは JIC へ  
 ご請求ください。留学・旅行相談お気軽に!**

## ~Jクラブ(JIC友の会)のご案内~

JIC インフォメーションを年 6 回、また JIC のイベント案内をもちろんお届けします。  
 ご希望の方には入会案内をお送りいたしますので、ご連絡ください。  
 国際親善交流センター